

地域とつながる FFG連携プロジェクト



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、熊本市における歴まち融資を活用した新たな拠点づくりの取組および、
長崎県東彼杵町と連携したビジネスプランコンテストの開催についてご紹介いたします。

歴まち融資を活用した熊本の“新たな拠点づくり”

熊本銀行は、熊本市との「歴史まちづくりに関する連携協定」に基づく取組の一環として2022年4月より「熊本市町屋等利活用資金（以下、「歴まち融資」）の取扱いを開始しました。

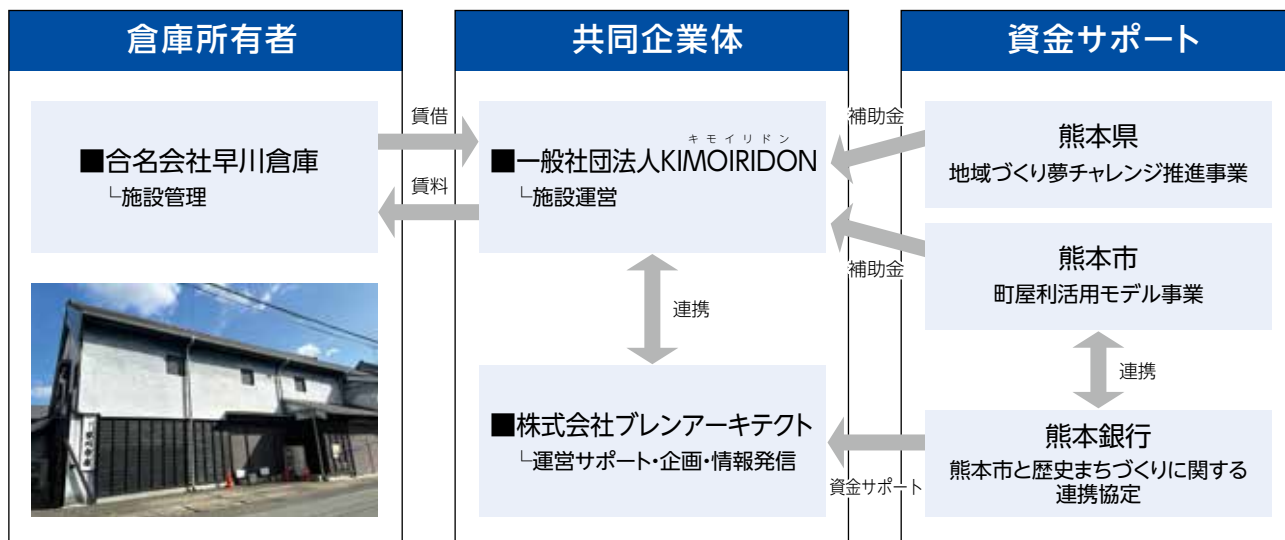
歴まち融資は熊本市の城下町地区および川尻地区における町屋等を利活用し、歴史的町並みの維持・向上を通じて地域活性化や観光振興等に貢献する民間まちづくり事業者の資金需要に対応する融資商品です。

現在、歴まち融資の第一号案件として、熊本県・熊本市の補助金を活用し、熊本市の新町・古町地区における「新たな拠点づくり」が進んでいます。

新たな地域活性化の拠点となる「早川倉庫」は、熊本市の新町・古町地区に明治10年に建設された歴史ある木造建造物です。建築当初は岡崎酒類醸造所として赤酒・にがり酒の醸造所でした。岡崎酒類醸造所の創業者である岡崎唯雄氏は、熊本の経済界の牽引者で、熊本商工会議所の初代会頭を務めたほか、「素心吟社」という名前で私塾を作り地域の若者に商業を教えていました。建物は、早川仁三郎氏が「早川商店」の社名で卸売業を始めた際に使用され、その子息健祐氏が太平洋戦争後の昭和29年に倉庫業を開業し現在に至ります。

この度、146年間継承されてきた早川倉庫2階の一部を利活用し、町屋等の歴史的資源の

事業実施体制図





保存・活用に関する活動を行う一般社団法人
KIMOIRIDON^{キモイリドン}と、地域課題を解決するための
「しくみのデザイン」を行う株式会社ブレンアーキ
テクトがコンソーシアムを組み、ワーキングスペース
事業を開始しました。岡崎唯雄氏への想いも馳せ
て「早川倉庫WORKING SPACE素心吟舎」と
して、今年4月にOPENを予定しています。

本施設は、今後の熊本を担う人々やベンチャー企
業の育成を行うことを目的とし、学生や若手経営
者たちの学びの場やビジネスにもつながる拠点とし
て活用される予定です。新町・古町地区の地域課
題の解決を目指す企業や個人が、共に協働意識を
持ち、相互によろず支援を行えるようなコミュニ
ティを形成していきます。

また、新町・古町地区は、先進的なまちづくりを
行うため、さまざまな実証実験のフィールドとして
活用されており、本施設を新町・古町地区の地域
課題解決の実証実験の場として活用することで、
地域にヒト・モノ・情報の流れを創出していきます。

今後も、熊本銀行は熊本市ならびに民間まちづ
くり事業者と連携して持続可能な地域社会の実
現に貢献していきます。



左からKIMOIRIDON代表理事早川祐三氏、ブレンアーキテクト代表取締役濱田智紀氏、
KIMOIRIDON理事河野修治氏



窓や壁を活用したオープンスペース



146年間継承されてきた倉庫の梁などを活用しリフォーム



熊本銀行 ソリューション営業部 左から藤田・山下
【お問い合わせ】TEL (096) 385-1280



リフォーム前



リフォーム後

新！感！選！東彼杵町ビジネスプランコンテストの開催



東彼杵町の茶畑にてフィールドリサーチ参加者全員で記念写真

長崎県の中心部に位置する東彼杵町は、現在、人口流出に伴う地域の活力減退を課題として抱えており、町への移住や交流を通じた関係人口の増加や外部との効果的な連携による活力創出が求められています。

今回、十八親和銀行では、東彼杵町観光協会からビジネスプランコンテストの運営業務を受託し、町への効果波及・拡大に向けた「新！感！選！東彼杵町ビジネスプランコンテスト」を開催しました。西九州新幹線長崎ルートの開業を契機に「体験型観光」「地域資源の活用」「移動・交通」の3つをテーマに地域活性化に資するビジネスアイデアを募集しました。

2022年9月15日より約1ヶ月間参加者募集を行い、小学生・高校生・大学生・社会人の24チーム（64名）の応募を受付、11月7日には町内の名所を訪問し、人口・産業・特産品・移住者などをヒアリングするフィールドリサーチを実施。11月13日、12月11日にはアイデア発想法からペルソナ設定、リーディングパス作成までの講義を行う教育プログラムを提供しました。最終的には17チームからビジネスプランの応募があり、書類審査にて予選会を実施。事務局での厳正なる審査のもと決勝進出の11チームを決定しました。

その後、2023年1月29日に東彼杵町総合会



十八親和銀行新入行員もコンテスト決勝出場



チラシ イラストレーション:山下アキ



第1位グランプリ 新崎 聖様



左からチーム波佐見焼様、チーム波佐見っ子様



コンテスト決勝出場者の皆様と集合写真

館で「新！感！選！東彼杵町ビジネスプランコンテスト」を開催し、決勝に進出した11チームと特別参加の小学生2チームがアイデアを熱弁しました。

その結果、「ふたつ星ウェルカムツアー」を提案した、新崎聖さんがグランプリを獲得。波静かな大村湾を東彼杵町の名物であるクジラを模したカヤックで移動し、そのぎ茶を味わいながら、JR千綿駅に週4回停まる観光列車「ふたつ星」を迎えるとい

う、列車の乗客と参加者の双方に非日常の体験を提供するプランで、見たことのない海からの景色を楽しむ逆転の発想が評価を集めました。

今後も十八親和銀行は、アントレプレナーシップ人材発掘・育成、スタートアップ創出、お取引先の新事業、地域の新産業創出等、スタートアップエコシステムの構築を強化していくためにビジネスプランコンテストを積極的に開催していきます。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



(左)十八親和銀行地域振興部 兼iBankマーケティング 長尾、
(右)十八親和銀行地域振興部 寺田

【お問い合わせ】TEL (095) 895-6251